令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　2

事務事業名称		スポーツ少年団活動支援事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1963(S38)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市補助金等交付規則、枚方市スポーツ少年団活動事業補助金交付要領						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	スポーツ少年団活動補助金　補助金性質：　事業費補助						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	少年団の活動が更に活発化し、日本スポーツ協会が掲げるスポーツ少年団の3つの理念(①一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供する②スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる③スポーツで人をつなぎ、地域づくりに貢献する)を、より多くの団員が達成するために支援を行う。						
	対象者(受益者)	枚方市スポーツ少年団(各団に所属する児童/各団の指導者) ※少年団は、登録する年の4月1日現在満3歳以上の団員10名以上と、日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程に基づくスポーツ少年団の理念を学んだ2名以上の指導者で構成。(原則)						
	現状・課題	団員数は年度により、多少の増減を見せているが、指導者は減少傾向にある。 また、指導者の減少は団数の減少にも繋がる。						
	事業の概要	本市における青少年の健全な育成に寄与する枚方市スポーツ少年団(以下「少年団」)の活動を支援するため、毎年補助金の支出を行っている。						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き 【スポーツ少年団事務局としての事務】 ・大阪府等からの通知を各部会長へ通知 ・北河内7市事務局との調整 ・少年団の連絡事項を各部へ通知 ・少年団役員会に係る事務局業務(資料確認・開催通知・出席)年2回 ・少年団総会に係る事務局業務(資料確認・開催通知・出席)年1回 ・団登録事務(期日通知・承認作業・登録状況管理)年間を通じて都度 ・北河内地区スポーツ少年団連絡協議会評議員会に係る事務局業務(資料作成・開催通知・出席) 　枚方市は令和6年及び7年が担当。年2回 ・枚方市スポーツ少年団スポーツフェスティバルに係る事務局業務(資料作成・各種申請手続き・出席)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.27人	0.15人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	2,076	1,231	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	2,076	1,231	—	—		
歳出 物件費計	154	250	—	—	250	100.0%
歳出計	2,230	1,481	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	154	250	—	—	250	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① スポーツ少年団活動補助金額	円	154,000 円	250,000 円	― 円	― 円

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	登録する年の4月1日現在満3歳以上の団員10名以上と、日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程に基づくスポーツ少年団の理念を学んだ2名以上の指導者で構成（原則）
指標	スポーツ少年団登録団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	39	39	40	40	団体
実績	39	35	―	―	団体
算出方法	スポーツ少年団登録システムに登録している団体数				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	少年団に参加する全ての人が、継続的にスポーツを楽しむことができる。
指標	スポーツ少年団の登録団員数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	850	900	1,000	1,050	人
実績	873	777	―	―	人
算出方法	スポーツ少年団登録システムに登録している団員数				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

団員募集の周知活動に尽力し団員及び団体の増加に努めること、団加入前の子どもが気軽に少年団に触れられる機会を創出することで、少年団登録者数の増加させ、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	枚方市スポーツ少年団の活動に対し、補助金を支出することで、青少年の健全育成や体力向上に寄与した。 また、団員増加を目的に各スポーツ施設への団員募集ポスターの配架や、スポーツ少年団の各部会に対し地元チーム等への団員募集周知を依頼した。
R7年度	枚方市スポーツ少年団の活動（本部長杯会場費や枚方市スポーツ少年団フェスティバルなど）に対し、補助対象基準を一部見直したことで利用が増え、青少年の健全育成や体力向上に寄与した。 また、団員増加を目的に各スポーツ施設への団員募集ポスターの配架や、スポーツ少年団の各部会に対し地元チーム等への団員募集周知を依頼した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	令和8年度も引き続き、スポーツ少年団の活動を支援することで、青少年の健全育成や体力向上を図るとともに、地元チーム等の活動か活発になることにより、団加入前の子どもが少年団に触れられる機会の創出につながり、少年団登録者数の増加につなげていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　3

事務事業名称		スポーツ団体活動補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	体育団体活動補助金			補助金性質：　事業費補助			
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	競技者が目標を持って協議に取り組むことができ、競技力を向上させることができる環境を整え、一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまちを目指します。また、市民にとっても年齢や興味または関心に応じた種目を選択し、生涯にわたってスポーツに親しむ環境を充実させます。						
	対象者（受益者）	公益財団法人枚方市スポーツ協会の各加盟団体に所属する人						
	現状・課題	大会の開催や市民を対象とした講習会・体験イベントなどスポーツに親しむことができる環境が求められている。また、競技普及の機会が不足している。						
	事業の概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会に加盟する各団体の活動に対して、毎年補助金の支出を行っている。						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.08人	0.08人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	615	657	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	10	23	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	625	680	—	—		
歳出	物件費計	675	658	—	—	675	97.5%
歳出計		1,300	1,338	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		675	658	—	—	675	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 体育団体活動補助金額	円	675,000 円	658,150 円	― 円	― 円

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：団体主催の大会・スポーツ教室を開催するなど、活動が活性化する。

指標：加盟団体主催・共催の大会等実施回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	106	106	106	106	回
実績	92	86	―	―	回
算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：競技者が目標を持って競技に取り組め、競技力が向上する。

指標：加盟団体が主催・共催する大会等の参加人数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	24,100	24,200	24,300	24,400	人
実績	26,730	26,862	―	―	人
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

団体登録者数や大会参加者数が増えることで各団体の活動が活発になり、団体独自の大会が多く開催されることで競技者が目標を持って競技に取り組める環境を実現し、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会へ加盟する27団体へ補助金の交付を行った。 天候により開催できなかった大会があったため大会等の実施回数は目標数値を下回ったが、大会参加者数は目標数値を上回る結果となった。
R7年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会へ加盟する27団体へ補助金の交付を行った。 大会等の実施回数は目標数値を下回ったが、大会参加者数は目標数値を上回る結果となった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	各団体の活動が活発化し、市民が生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態を目指して、引き続き加盟団体に対する支援を行っていく。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	現状維持	現状維持	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　20

事務事業名称		市民スポーツ応援サポート事業補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部	課：　スポーツ振興課			区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、市民スポーツ応援サポート事業補助金交付要項						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	市民スポーツ応援サポート事業補助金				補助金性質：　事業費補助		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公益財団法人枚方市スポーツ協会が、スポーツで優秀な成績を収めた市民や団体の紹介、スポーツ大会やイベントの情報発信、ホームタウンチームとの交流機会の創出を行う市民スポーツ応援サポート事業を実施することで、市民のスポーツへの興味や関心を高め、スポーツ人口の拡大を図ります。						
	対象者（受益者）	公益財団法人枚方市スポーツ協会 公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者						
	現状・課題	市民のスポーツへの興味や関心を高め、市民にとっても年齢や興味または関心に応じた種目を選択し、生涯にわたってスポーツに親しむ環境を充実させます。						
	事業の概要	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する市民のスポーツへの興味や関心を高めるための取り組みに対して補助金を交付する。 ①スポーツ応援事務（世界大会や全国大会に出場する選手や団体の応援を行う際や、優勝セレモニーや報告会等を実施する際のサポートを行う） ②スポーツ情報提供事業（ホームページやSNSにおいて情報発信するために、情報内容や企画、広報、情報提供を行い、継続的にスポーツの普及・啓発を行う） ③トップアスリートとの市民交流事務（トップアスリートと触れ合える市民応援DAYや報告会等のイベントを実施） ④賑わい創出事業（親子わくわくパークフェスタやひらかた街ぶらロゲイニングなど、スポーツ無関心層へのスポーツの魅力発信と賑わい創出を行う）						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.19人	0.19人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	1,461	1,560	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	1,461	1,560	—	—		
	物件費計	4,323	4,644	—	—	4,644	100.0%
歳出計		5,784	6,204	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		4,323	4,644	—	—	4,644	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 市民スポーツ応援サポート事業補助金額	円	4,322,774 円	4,644,000 円	― 円	― 円

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

アウトプット（活動が産み出した結果）

ロジックモデル

アウトプット①

説明：公益財団法人枚方市スポーツ協会が市民向けのスポーツ大会・イベント・教室等の開催情報発信を行う

指標：SNS（Instagram・Facebook・X）の発信回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	200	210	220	230	回
実績	208	143	―	―	回

算出方法：―

ロジックモデル

アウトプット②

説明：公益財団法人枚方市スポーツ協会がスポーツ無関心層へのスポーツの魅力発信と賑わいを創出する参加型イベントを開催する

指標：賑わい創出事業の実施イベント数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	2	2	2	2	回
実績	3	2	―	―	回

算出方法：―

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：市民のスポーツへの興味や関心が高まり、フォロワーが増える

指標：SNS（Instagram・Facebook・X）のフォロワー数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	1,700	1,800	1,900	2,000	回
実績	1,755	1,789	―	―	回

算出方法：―

アウトカム②

説明：市民が気軽にイベントに参加する

指標：各種イベント参加者数
※令和6年度は、親子わくわくパークフェスタが悪天候のため一部プログラム中止

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	40	700	800	900	人
実績	92	1,632	―	―	人

算出方法：―

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

スポーツの魅力発信と参加型イベントを開催することで、無関心層も含め、スポーツに触れる機会を提供し、市民のスポーツへの興味や関心を高めるきっかけとなり、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する「市民スポーツ応援サポート事業」に対し、補助金を支出することで、市民が気軽にスポーツに親しめる環境を提供するとともに、スポーツ教室の開催や全国大会または世界大会に出場する市民に関する情報をSNSを通じて発信するなど、市民のスポーツに対する関心を高めることに寄与した。 「親子わくわくパークフェスタ」は一部のプログラムを中止したことから、参加者数は目標値を下回る結果となった。
R7年度	市民が気軽にスポーツに親しめる環境を提供するとともに、スポーツ教室の開催や全国大会または世界大会に出場する市民に関する情報をSNSを通じて発信するなど、市民のスポーツに対する関心を高めることに寄与した。 SNSの発信は、Instagramのストーリーズのリンク機能を活用することで、通常の投稿に比べて「スポっぷ」等の詳細情報へ誘導しやすくなり、よりタイムリーで分かりやすい情報提供に努めた。ストーリーズの内容は24時間で自動的に表示が終了することから、投稿件数に反映されず、投稿回数としては目標値を下回る結果となったがフォロワー数は昨年度から増加した。 賑わい創出事業については、「ひらかた街ぶらロゲイニング」と「親子わくわくパークフェスタ」を同日開催することで、それぞれのイベントの認知度を高めることができ、「ひらかた街ぶらロゲイニング」の申込チーム数は過去最多となった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	引き続き、スポーツに触れる機会の提供や市民のスポーツへの興味や関心を高めるきっかけづくりに寄与する。 また、令和8年度は市が連携協力協定を締結しているトップチーム3チームによる「市民応援DAY」をスタンプラリー形式で周遊することで、市と各チームの連携協定の締結を広くPRするとともに、異なる競技間の観戦機会を創出する企画を本事業内で実施する。この企画により、これまで接点の少なかった競技に触れ、それぞれの競技の魅力を体感することで、継続的な観戦や応援につながる相乗効果を図る。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　29

事務事業名称		地域・競技スポーツコンサルティング事業補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、健康スポ―ツ普及事業補助金要項						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	地域・競技スポ―ツコンサルティング事業補助金　補助金性質：　事業費補助						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公益財団法人枚方市スポーツ協会が、地域スポーツや競技スポーツ、障害者スポーツなどへの支援や情報発信を行う地域・競技スポーツコンサルティング事業を実施することで、市民のライフステージに応じたスポーツ機会の提供を図ります。						
	対象者（受益者）	公益財産法人枚方市スポーツ協会 公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者						
	現状・課題	高齢化の進展やコロナ禍、ストレス社会による、生活習慣病の増加、フレイル等の健康被害も増加しています。また、労働人口の減少が社会課題となるなか、企業は「健康経営」に注目しています。						
	事業の概要	公益財団法人枚方市スポーツが実施する市民の健康増進や市内企業における健康経営の推進を図るための取り組みに対して補助金を交付する。 ①地域スポーツコンサルティング（市民向け相談窓口）（スポーツ教室・スポーツイベントの開催相談やプログラム企画・ボランティア・指導者や活動場所等の紹介、スポーツ用品の貸し出しを行う） ②健康経営®のコンサルティング（企業向け相談窓口）（健康経営取り組み方法や事例などについての相談を行う） ③障がい者スポーツのコンサルティング（障がい者スポーツの相談、障がい者スポーツの普及・支援事業を行う） ④各種団体等との連携・協働（協会ポータルサイトを活用したスポーツ関連団体の情報掲載などを行う）						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.09人	0.09人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	692	739	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	692	739	—	—		
歳出	物件費計	2,992	3,014	—	—	3,014	100.0%
歳出計		3,684	3,753	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		2,992	3,014	—	—	3,014	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 地域・競技スポーツコンサルティング事業補助金額	件	2,992,109 件	3,014,000 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	地域スポーツコンサルティング(市民向け)と健康経営®のコンサルティング(企業向け)相談・調整件数
指標	市民向け及び企業向け相談・調整(全体件数)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	36	38	40	42	件
実績	36	48	—	—	件
算出方法	目標値は令和6年度実績を基準 毎年、2件ずつ増加することを目標とする				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングを実施した企業及び個人に対するアンケート調査による満足度
指標	地域スポーツへのコーディネート、コンサルティングに対する満足度 (スポーツ協会)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	85	90	95	100	%
実績	99	96.6	—	—	%
算出方法	アンケート調査による満足度(満足と回答した件数/総回答件数)				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

地域スポーツや競技スポーツ、障害者スポーツなどへの支援や情報発信を行う地域・競技スポーツコンサルティング事業を実施することで、市民のライフステージに応じたスポーツ機会の提供を増やすきっかけとなり、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する「地域・競技スポーツコンサルティング事業」に対し、補助金を支出することで、地域スポーツのコンサルティングにおいては、地域と企業ともに新規の相談を受けるなど、地域におけるスポーツ活動の活性化や企業の健康経営の支援に寄与した。障がい者スポーツのコンサルティングについても、スポーツを楽しめる機会の提供と様々な人々との交流によるノーマライゼーションの理念の普及にも寄与した。
R7年度	地域スポーツのコンサルティングにおいては、地域と企業ともに相談件数が増加し、地域におけるスポーツ活動の活性化や企業の健康経営の支援に寄与した。 また、昨年度に引き続き市内で障がい者スポーツに取り組む関係者と、活動状況の共有や課題整理等を行う「枚方市障害者スポーツ団体情報交換会」を開催し、「NPO法人スペシャルオリンピックス日本大阪」の会員が「ふれあいマラソン」に参加する等、好循環が生まれた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	令和8年度も引き続き、団体・地域ごとの多様なニーズに対応したイベント開催及びコンサルティングを行い、市民のライフステージに応じたスポーツ機会の提供に寄与する。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　30

事務事業名称		スポーツサポーターズバンク事業補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、スポーツサポーターズバンク事業補助金交付要項						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	スポーツサポーターズバンク事業補助金			補助金性質：　事業費補助			
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公益財団法人枚方市スポーツ協会が、スポーツ指導者及び支援者の発掘や養成、派遣を行うスポーツサポーターズバンク事業を実施することで、「支えるスポーツ」の推進を図ります。						
	対象者（受益者）	公益財団法人枚方市スポーツ協会 公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者						
	現状・課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の職員のみでは十分な規模、内容で実施することができない。						
	事業の概要	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する、スポーツ指導者及び支援者の発掘や養成、派遣を行うスポーツサポーターズバンク事業に対し、本補助金を交付する。 ①講習会・研修会及び養成講座の開催（指導者や支援者の育成に係る講習会を実施。育成した指導者や支援者に定期的に指導方法のフォローアップ研修を行い指導者や支援者の資質向上に努める） ②スポーツサポーターズの登録業務 ③指導者派遣事業（市民のニーズに合わせ指導者を派遣するとともに、中学校部活動などへ指導者の派遣や支援を行う）						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.09人	0.09人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	692	739	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	692	739	—	—		
歳出	物件費計	5,967	6,034	—	—	6,034	100.0%
歳出計		6,659	6,773	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		5,967	6,034	—	—	6,034	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① スポーツサポーターズバンク事業補助金額	円	5,967,278 円	6,034,000 円	― 円	― 円

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	各種講習会及び研修会の開催回数
指標	講習会及び研修会の開催回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	5	5	5	5	回
実績	5	5	―	―	回
算出方法	目標値は令和6年度実績。 令和6年度実績以上の回数を開催することを目標とする。				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が、企業や団体からの派遣依頼に基づき派遣された回数
指標	発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	60	225	230	235	回
実績	222	224	―	―	回
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

スポーツ指導者及び支援者の発掘や養成、派遣を行うスポーツサポーターズバンク事業を実施することで、「支えるスポーツ」を推進することにより、市民のスポーツへの興味や関心を高めるきっかけとなり、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する「スポーツサポーターズバンク事業」に対し、補助金を支出することで、指導者・支援者の派遣回数は、前年度よりも地域向けと企業向けの両方で指導者は件数が大きく増加するなど、「支えるスポーツ」の推進に寄与した。
R7年度	指導者・支援者の派遣回数は、前年度とほぼ横ばいだったが、企業等との打ち合わせを行い、登録者から団体のニーズに沿った指導者を派遣することで、「支えるスポーツ」の推進に寄与した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	令和8年度も引き続き、スポーツインストラクターやスポーツリーダーなど地域人材の募集、育成を図り、市民のスポーツ活動の振興に寄与する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　40

事務事業名称		健康スポーツ普及事業補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、健康スポーツ普及事業補助金交付要項						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	健康スポーツ普及事業補助金				補助金性質：　事業費補助		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公益財団法人枚方市スポーツ協会が、市民の健康増進や市内企業における健康経営の推進に寄与することを目的に、本事業の各プログラムを実施することで、「観る」「する」「支える」の各分野において、市民および企業のスポーツへの参加機会の拡充、多様なニーズへの対応等の充実を図ります。						
	対象者（受益者）	公益財団法人枚方市スポーツ協会 公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者						
	現状・課題	高齢化の進展やコロナ禍、ストレス社会による、生活習慣病の増加、フレイル等の健康被害も増加しています。また、労働人口の減少が社会課題となるなか、市民の健康増進や市内企業における健康経営が注目されている。						
	事業の概要	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する市民の健康増進や市内企業における健康経営の推進に寄与することを目的とした取り組みに対して補助金を交付する。 ①「健康スポーツ事業」として、市民の健康増進や高齢者の介護予防を目的に、地域展開における楽10体操や朝活教室などの事業を実施。また、連携協定締結チームのホームゲーム開催時に合わせて、健康チェックができる機会を提供し、地域チームとの連携による健康意識の向上を図る。 ②「健康経営セミナー」として、近年、本市でも関心の高まっている「健康経営」について、企業への啓発や支援の取り組みを継続し、更なる普及と定着を目指す。 ③「オーダーメイドプログラム（健康パッケージ）」として、市民・企業を対象に、それぞれのニーズに応じたオーダーメイド型の運動・スポーツプログラムの提供を行う。						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.09人	0.09人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	692	739	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	692	739	—	—		
歳出	物件費計	13,091	12,830	—	—	13,278	96.6%
歳出計		13,783	13,569	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	3,894	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	3,894	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		13,091	8,936	—	—	13,278	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 健康スポーツ普及事業補助金額	円	13,091,390 円	12,830,329 円	― 円	― 円

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	目的達成に向けた事業を各ニーズに応じた内容で実施する。
指標	各事業実施数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	8	8	8	8	事業
実績	8	8	―	―	事業
算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施され、スポーツ体験を通じた啓発、知識の普及等を行う。
指標	各事業参加者

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	9,200	11,800	11,900	12,000	人
実績	11,707	10,062	―	―	人
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

スポーツに触れる機会を提供し、市民のスポーツへの興味や関心を高めるきっかけをつくり、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する「健康スポーツ普及事業」に対し、補助金を支出することで、市民の健康増進や市内企業における健康経営の推進に寄与した。 （事業例） ・健康スポーツ事業として「楽10体操®」や「朝活教室」などの健康支援プログラムを実施。 ・オーダーメイドプログラムとして、ニーズに応じたオーダーメイド型の運動・スポーツプログラムの提供。等
R7年度	オーダーメイドプログラムについて、楽10体操、健康体操を中心に市民団体を対象としたプログラムの拡充に努めた結果、市民対象については前年度に比べて参加者数が約280人増加した。一方で、企業向けについては、各企業のニーズや実施状況に応じた依頼型の事業であることから、前年度と比較して延べ参加者数は減少したが、企業ごとの課題に応じたプログラムを提供することにより、個別ニーズに即した質の高い健康支援を実施した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	令和8年度も引き続き、スポ―ツに触れる機会を提供することで、市民のスポ―ツへの興味や関心を高めるきっかけづくりに寄与する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　48

事務事業名称		市民オリンピック事業補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、市民オリンピック事業補助金交付要項						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	市民オリンピック事業補助金				補助金性質：　事業費補助		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公益財団法人枚方市スポーツ協会が、市民が様々なスポーツを気軽に体験できる機会を提供することを目的に市民オリンピック事業を実施することで、スポーツへの興味や関心を高めるとともに、スポーツを始めるきっかけを創出します。						
	対象者（受益者）	公益財団法人枚方市スポーツ協会 公益財団法人枚方市スポーツ協会イベントへの参加者						
	現状・課題	市民を対象とした体験イベントなどスポーツに親しむことができる環境が不足している。						
	事業の概要	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する市民のスポーツへの興味や関心を高めるための取り組みに対して補助金を交付する。 市民オリンピック事業として、毎年スポーツの日に開催。小学生を中心に、様々なスポーツを気軽に体験できる機会並びにスポーツや運動にチャレンジするきっかけづくりを提供し、スポーツに興味・関心を持ってもらうことを目的に複数の種目を時間入替制で実施。また、興味・関心をもってもらったスポーツ種目や運動の継続場所を紹介することによって、スポーツ習慣の定着を目指す。						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.09人	0.09人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	692	739	—	—		
	会計年度任用職員	0	0	—	—		
	特別職非常勤	0	0	—	—		
	附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	692	739	—	—		
	物件費計	2,619	2,525	—	—	2,525	100.0%
歳出計		3,311	3,264	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		2,619	2,525	—	—	2,525	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 市民オリンピック事業補助金額	円	2,619,000 円	2,525,000 円	― 円	― 円

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施され、多くの子どもたちが参加する。
指標	イベント参加者

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	1,250	1,300	1,350	1,400	人
実績	1,294	1,078	―	―	人
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	スポーツへの興味や関心が高まったとするアンケート満足度
指標	アンケート結果

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	75	80	85	90	%
実績	78	83	―	―	%
算出方法	「スポーツ(体を動かす)意欲」が高まったと回答した割合				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

十分な規模、内容でイベントを実施することでイベント参加者の増加に繋げ、イベント後も継続してスポーツや運動に取り組む子どもの割合を増やし、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する「市民オリンピック事業」に対し、補助金を支出することで、市民が様々なスポーツを気軽に体験できる機会を提供し、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを始めるきっかけづくりに寄与した。
R7年度	市民が様々なスポーツを気軽に体験できる機会を提供し、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを始めるきっかけづくりに寄与した。 同様のイベントと時期が重なったことなどが影響し、参加者数は減少したが、満足度は上昇した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	令和8年度も引き続き、イベント参加者の増加を図り、イベント後も継続してスポーツに取り組む子どもの増加に寄与する。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　51

事務事業名称		新春走ろうかい事業補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、新春走ろうかい事業補助金交付要項						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	新春走ろうかい事業補助金				補助金性質：　事業費補助		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公益財団法人枚方市スポーツ協会が、市民の健康づくりや体力向上に寄与することを目的に新春走ろうかい事業を実施することで、スポーツへの興味や関心を高めるとともに、年代や距離に応じて気軽に参加できる機会を創出します。						
	対象者（受益者）	公益財団法人枚方市スポーツ協会 公益財団法人枚方市スポーツ協会イベントへの参加者						
	現状・課題	活動の目標や練習の成果を発揮する場が少ない						
	事業の概要	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する市民の健康増進や体力づくりに寄与することを目的とした取り組みに対してに補助金を交付する。 新春走ろうかい事業として、昭和52年から毎年成人の日に開催。淀川河川敷において気軽に走れる2㎞のジョギングの部から本格的なハーフマラソンまで複数の種目があり、年代や距離に応じて誰もが気軽に参加できるイベントを開催する。						
	年間の主な事務	・補助金交付決定事務 ・特別協力名義使用承認手続き ・大会当日に向けた調整 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.09人	0.09人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	692	739	—	—		
	会計年度任用職員	0	0	—	—		
	特別職非常勤	0	0	—	—		
	附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	692	739	—	—		
	物件費計	8,771	9,052	—	—	9,065	99.9%
歳出計		9,463	9,791	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		8,771	9,052	—	—	9,065	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 新春走ろうかい事業補助金額	円	8,771,000 円	9,051,675 円	― 円	― 円

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施され、多くの世代が参加する。
指標	大会参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	2,950	3,000	3,050	3,100	人
実績	2,950	3,978	―	―	人
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	年代や距離に応じて誰もが気軽に参加でき、健康増進や体力つくりのきっかけになる。
指標	参加者満足度(アンケート結果)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	95	95	95	95	%
実績	97	97	―	―	%
算出方法	参加者へのアンケートにより測定した満足度				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

十分な規模、内容で大会を実施することで、大会参加者の増加に繋がり、大会参加を目標とした活動が健康増進や体力つくりのきっかけとなり、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する「新春走ろうかい事業」に対し、補助金を支出することで、初心者からアスリート、幼児から高齢者までの誰もが楽しく走れる大会の開催を支援し、市民の健康づくりや体力向上に寄与した。
R7年度	初心者からアスリート、幼児から高齢者までの誰もが楽しく走れる大会の開催を支援し、市民の健康づくりや体力向上に寄与した。 エントリーの受付業者をこれまでの1社から2社に変更を行ったことで、参加者が1,028人も増加した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	令和8年度も引き続き、大会参加を目標とした市民の健康増進や体力づくりのきっかけに寄与する。 また、第50回目の記念大会として、ランナーや来場者が楽しめるさらなる追加要素を検討し、魅力ある大会を実現する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　148

事務事業名称		スポーツ大会等開催事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	スポーツ大会やレクリエーション事業等の促進により、各大会に参加する市民の健康維持・体力増進を図り、スポーツ活動をより活発にすることで、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支えます。						
	対象者（受益者）	各種大会、イベントに参加する各種スポーツ競技者及び競技者となる可能性がある人						
	現状・課題	活動の目標や練習の成果を発揮する場が少ない。						
	事業の概要	市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動をより活発にすることを目的として、下記事業を実施する。 ①各種競技大会（総合体育大会等）を実施。 ②市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ③ラグビーカーニバルを実施。						
	年間の主な事務	①各種競技大会（総合体育大会等）の実施に係る委託手続き ②市内高校バレーボール大会の運営 ③ラグビーカーニバルの実施に係る委託手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.55人	0.62人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	4,228	5,090	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	10	23	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	4,238	5,113	—	—		
	物件費計	40,236	41,752	—	—	41,758	100.0%
歳出計		44,474	46,865	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	18,272	44,435	—	—	45,003	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		18,272	44,435	—	—	45,003	
一般財源（物件費充当分のみ）		21,964	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 市主催・委託事業数	事業	11 事業	11 事業	― 事業	― 事業

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	イベント・大会が多く開催される
指標	各種イベント・大会の開催数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	10	10	10	10	回
実績	11	11	―	―	回
算出方法	各種イベント・大会の開催数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	各種スポーツ競技者等の市民が、大会やイベントに参加する。
指標	各種イベント・大会参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	21,000	21,500	22,000	22,500	人
実績	17,040	16,887	―	―	人
算出方法	各種イベント・大会参加者数				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

大会・イベントを目標として活動しやすくなることで、個人や団体などのニーズに応じたスポーツを継続して行える環境を実現させ、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	ラグビーカーニバルは毎年同時期に開催していることから、イベントの認知につながってきており、体験会の参加者数の増加につながった。また、総合体育大会等の各種競技大会は天候により開催できなかった大会が生じたことから、参加人数が減少したため、目標数値には至らなかった。
R7年度	ラグビーカーニバルは車いすラグビーの体験などプログラムを増やしたことから、令和7年度にかけても参加者数の増加につながった。 総合体育大会は、加盟団体会員数の減少や他大会との日程の重複などが影響し、目標数値には至らなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	スポーツ実施率の向上に向けて、スポーツに気軽に親しめる環境づくりとして、今後も市民の健康増進、競技力向上を目的として、継続して各種競技大会を開催し、市民のスポーツの振興を図っていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　150

事務事業名称		スポーツ推進計画推進事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　観光にぎわい部		課:　スポーツ振興課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	企画調査・政策立案	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2016(H28)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	スポ―ツ基本法、枚方市スポ―ツ推進審議会条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支えます。						
	対象者(受益者)	すべての市民 (ライフステージに応じてスポーツに取り組む人やこれからスポーツに取り組もうとする人等)						
	現状・課題	生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりが求められている。						
	事業の概要	だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを目的に、市長の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関する事業を総合的・計画的に推進する。						
	年間の主な事務	・委嘱に関する事務 ・スポーツ推進審議会の開催 ・スポーツ推進計画の推進に関する事項やスポーツの推進に関する重要事項の調査、審議						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.66人	0.66人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	5,074	5,418	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	10	23	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	5,084	5,441	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	10	0.0%
歳出計	5,084	5,441	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	10	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① スポーツ推進審議会の開催数	回	0 回	0 回	— 回	— 回
② 計画や審議会の意見に基づいたスポーツ振興に関する事業の実施	回	0 回	0 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—

算出方法: —

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	令和5年度に「枚方市スポーツ推進計画(改訂版)」を策定し、後期計画の初年度となった令和6年度は、本計画の周知を行うとともに市民のスポーツへの関心を高められるよう各種事業を実施した。
R7 年度	スポーツの実施率向上に向けて引き続き各種事業を推進するとともに、本計画の進捗確認を行うため関係部署等へ実績照会を行った。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	本計画の推進にあたって、「枚方市スポーツ推進審議会」において各種事業実績の点検・評価を行い、計画の進行管理を行う。また、令和10年度を始期とする次期スポーツ推進計画の策定に向けて、市民のスポーツ実施状況等を把握するためのアンケート調査項目についても、同審議会において調査・審議します。	R8年度 方向性	**拡充**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**拡充**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　493

事務事業名称		スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立サプリ村野スポーツセンター条例、枚方市立サプリ村野スポーツセンター条例施行規則、淀川河川敷グラウンドの貸出しに関する要綱、決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる環境整え、市民のスポーツの利用を促進します。						
	対象者（受益者）	サプリ村野スポーツセンターの利用者/淀川河川敷グラウンドの利用者/ゲートボール場の利用者						
	現状・課題	市民が誰でも安全にスポーツができる環境整備されることが求められている。						
	事業の概要	①サプリ村野スポーツセンター（運動広場、体育館、多目的体育室1～4）の管理運営を行い、施設使用にかかる窓口業務等については、サプリ村野NPOセンターとあわせて業者に委託している。 ②淀川河川敷グラウンド（牧野・磯島）は、国からの許可を得て市民団体に貸し出している。 ③ゲートボール場は、施設ごとに使用者（地域団体）と協定を締結し、日常的な維持管理は使用者が行う。						
	年間の主な事務	①団体登録の手続き、委託業者との調整、委託料の支払い、関係課会議 ②団体登録の手続き、淀川河川事務所との調整、委託業者との調整、委託料の支払い、トイレ汲み取り等庁内調整 ③使用者との調整、土地所有者（関電、西日本高速道路等）との調整、トイレ汲み取り等庁内調整						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制 （人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.82人	1.16人	—	—
再任用	0.30人	0.30人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.08人	0.04人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	5.00人	—	—

決算額 （千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	7,902	11,112	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	77	94	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	133,000	—	—		
歳出 人件費計	7,979	144,206	—	—		
歳出 物件費計	23,136	43,145	—	—	50,684	85.1%
歳出計	31,115	187,351	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担（使用料・手数料）	5,162	4,291	—	—	3,972	
歳入 市債	0	15,100	—	—	15,700	
歳入 その他	1	1	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）	5,163	19,392	—	—	19,672	
一般財源（物件費充当分のみ）	17,973	23,753	—	—	31,012	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① サプリ村野スポーツセンターの開所日数	日	347 日	347 日	— 日	— 日
② 淀川河川敷グラウンドの開所日数	日	319 日	324 日	— 日	— 日
③ ゲートボール場の施設数	施設	12 施設	12 施設	— 施設	— 施設

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル アウトプット①

説明	効果的・効率的な管理運営を行い、施設使用者を増やす					
指標	サプリ村野スポーツセンター使用者数					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	46,500	46,600	46,800	47,000	人	
実績	46,247	44,536	—	—	人	
算出方法	村野駅西土地区画整理事業に伴うサプリ村野運動広場が令和7年9月から令和11年3月(予定)まで利用休止のため運動広場利用者数を除いて算出する。					

ロジックモデル アウトプット②

説明	効果的・効率的な管理運営を行い、施設使用者を増やす					
指標	淀川河川敷グラウンド使用者数					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	53,500	54,600	55,700	56,800	人	
実績	53,451	57,753	—	—	人	
算出方法	—					

ロジックモデル アウトプット③

説明	使用者(地域団体)と協定を締結し、日常的にスポーツを楽しめる場として活用する					
指標	ゲートボール場の稼働率					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	100	100	100	100	%	
実績	92	92	—	—	%	
算出方法	—					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	—	—	—	—	—	
実績	—		—	—	—	
算出方法	—					

アウトカム②

説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	—	—	—	—	—	
実績	—		—	—	—	
算出方法	—					

アウトカム③

説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	—	—	—	—	—	
実績	—		—	—	—	
算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

関係団体等と適宜調整を行いながら適切な維持管理を行うとともに、保全計画に基づく施設の更新等を行い、利用者が安心安全快適に施設を利用できる環境を整えることで利用者数の増加を図り、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	サプリ村野スポーツセンター及び淀川河川敷グラウンドについては、適切な維持管理を行った結果利用者数がほぼ目標値に達した。ゲートボール場については、1ヶ所休止中の施設があり、目標値を下回った。
R7 年度	サプリ村野スポーツセンターについては、体育館屋根改修工事に伴い体育館において25日間利用を休止したことが影響し、目標値を下回った。 淀川河川敷グラウンドについては、除草作業の必要回数を見直し、事業の効率化を図った。 淀川河川公園におけるスケートボードパーク整備については、スケートボードパーク整備事業者選定審査会を開催し、事業者を選定した。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	引き続き施設の適切な維持管理を行い、スポーツに親しみやすい環境作りに取り組む。 サプリ村野スポーツセンターについては、令和8年度に空調整備工事を予定している。 スケートボードパーク整備事業については、令和9年4月のオープンに向け、令和8年度中に整備工事を行う。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
		現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　494

事務事業名称		トップアスリートとのふれあい事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　観光にぎわい部		課:　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	トップアスリートとのふれあいを通してスポーツに対する関心を高めることで、スポーツに取り組む子どもやトップアスリートに夢を抱く子どもの数を増やします。						
	対象者(受益者)	これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している子ども						
	現状・課題	スポーツに対する関心を深める機会が少ない。						
	事業の概要	子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育むことを目的として市内でトップアスリートとふれあい、プレーを間近に見る機会を増やす。						
	年間の主な事務	・トップアスリートと連携した事業の企画・開催 ・トップスポーツチームとの連携協定に基づく事業の実施						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.07人	0.71人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.05人	0.01人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,226	5,828	—	—		
		会計年度任用職員	48	23	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		8,274	5,851	—	—		
	物件費計		9,220	7,297	—	—	7,205	101.3%
歳出計			17,494	13,148	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	7,203	—	—	7,203	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	7,203	—	—	7,203	
一般財源(物件費充当分のみ)			9,220	94	—	—	2	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 市主催・委託事業数	事業	2 事業	1 事業	― 事業	― 事業
② 連携協力に関する協定締結数	チーム	3 チーム	3 チーム	― チーム	― チーム

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル アウトプット①

説明	多くの子どもたちにトップアスリートとのふれあいやトップレベルのプレーを間近に見る機会を提供する。					
指標	参加人数(体験)					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	200	200	200	200	人
	実績	200	240	―	―	人
	算出方法	毎年実施するスポーツイベントの参加者数				

ロジックモデル アウトプット②

説明	ホームタウンチームをはじめとしたトップスポーツチームと連携した事業の回数					
指標	トップスポーツチームとの連携事業の回数					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	20	22	24	26	回
	実績	21	25	―	―	回
	算出方法	連携協定に基づき実施した市民応援デーやイベントの実施、チームの認知度向上に向けた事業回数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	子どもたちが、トップアスリートとふれあうことでスポーツを楽しみ、スポーツに対する関心が高まる。					
指標	参加者満足度(アンケート調査)					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	85	95	95	95	%
	実績	98.1	99.5	―	―	%
	算出方法	参加者へのアンケートにより測定した満足度				

アウトカム②

説明	子どもたちが、トップアスリートとふれあうことでスポーツを楽しみ、スポーツに対する関心が高まる					
指標	参加者満足度(アンケート調査)					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	85	95	95	95	%
	実績	97	―	―	―	%
	算出方法	連携協定に基づき実施したイベントにおける参加者へのアンケートにより測定した満足度				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

子どもたちが、トップアスリートとのふれあいを通して運動の得意・不得意や障がいの有無に関わらずスポーツを楽しみ、興味を持つことができることで、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度は、新たに「花園近鉄ライナーズ」と連携協力協定を締結し、「大阪ブルテオン」「FCティアモ枚方」の3チームと連携して市民応援デーの開催や、子どもを対象とした交流事業などを実施した。毎年実施しているイベント「スポーツチャレンジフェスタ2024」には人気トップアスリートであるプロサッカー選手の堂安律選手を招聘し、サッカーやブラインドサッカーなどの体験会やトークイベントを開催することで、参加者からは目標よりも高い満足度を得ることができた。
R7年度	①令和4年より毎年開催している「スポーツチャレンジフェスタ」を令和7年度は“陸上”の4名のアスリートを招聘し、各種目のクリニックやアスリートとのふれあいを実施することで、目標より高い満足度を得ることができた。 ②令和7年度も引き続き、連携協力協定を締結している「大阪ブルテオン」「FCティアモ枚方」「花園近鉄ライナーズ」と協働し、ホーム戦の市民無料招待として市民応援デー、市内の子どもを対象とした各種目のスポーツ教室として交流事業などを実施した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	①運動の得意・不得意や障がいの有無に関わらず様々な種目が楽しめるイベントを実施できるよう検討しながら、対象種目の特徴を活かした内容とすることで、高い満足度を維持する。 ②引き続き各チームと協働し、市民応援デーや交流事業などの開催に加え、各チームのPRに努めることで多くの市民がチームを応援したくなる基盤を作る。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　495

事務事業名称			スポーツ推進委員関係事務					
担当部署（R8年度機構）			部：　観光にぎわい部	課：　スポーツ振興課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			細区分	行政運営区分	
		施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性		所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度 / R9年度
						—	—	
	事業期間		事業開始：　1962(S37)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)					
	根拠法令等		スポ―ツ基本法、枚方市スポ―ツ推進委員に関する規則、決裁					
	関係附属機関等		該当なし					
	関係補助金等		該当なし　補助金性質：　—					
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態		スポーツ推進委員が、主催イベントに加え、各所属地域においてスポーツに関する行事や、ニュースポーツの普及活動等を主体的に行うことで、各地域住民がスポーツに親しみやすい地域社会を目指します。					
	対象者（受益者）		各校区等を代表するスポーツ推進委員					
	現状・課題		スポーツ推進委員の担い手が不足している。					
	事業の概要		市内44小学校区住民、スポーツ団体等、学校教職員、体育・教育系大学生等・学識経験者他から推薦等によって選出された方の中から、スポーツ基本法に基づいてスポーツ推進委員を委嘱し、枚方市スポーツ推進委員で構成される枚方市スポーツ推進委員協議会の事務局として、スポーツ推進委員とともに生涯スポーツの普及振興を図っていく。					
	年間の主な事務		・委嘱に関する事務（2年ごと） ・スポーツ推進委員協議会定例会および役員会の資料作成・通知・出席 ・大阪府および北河内地区スポーツ推進委員協議会との連携 ・イベント従事者の調整 ・主催イベント「ライフ・チャレンジ・ザ・ウォークinひらかた」の企画・運営 ・主催イベント「ライフ親子グラウンド・ゴルフ大会inひらかた」の企画・運営 ・スポーツ推進委員協議会が所管する備品の貸出事務					

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.46人	0.39人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.03人	0.03人	—	—
	特別職非常勤	47.00人	48.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳　正職員、再任用、任期付職員	3,536	3,202	—	—		
	内訳　会計年度任用職員	29	70	—	—		
	内訳　特別職非常勤	5,425	5,472	—	—		
	内訳　附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	8,990	8,744	—	—		
	物件費計	15	15	—	—	15	100.0%
歳出計		9,005	8,759	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		15	15	—	—	15	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① スポーツ推進委員の人数	人	48 人	48 人	— 人	— 人
② イベントの実施	回	2 回	2 回	— 回	— 回
③ 定例会の実施	回	8 回	9 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—

算出方法: —

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	主催イベントである「ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク」および「ライフ親子グラウンド・ゴルフ大会」を開催した。また協議会の備品であるニュースポーツ用具の貸出しを行うとともに、公益財団法人枚方市スポーツ協会や行政機関から依頼を受けて各種スポーツイベントのニュースポーツに関するコーナーの運営スタッフとして従事協力を行うなど、ニュースポーツの普及活動を行った。
R7年度	定例会に合わせてニュースポーツを中心とした研修会を行うとともに、令和7年度は北河内地区スポーツ推進委員連絡協議会の実技研修担当市として「ふらば～るバレーボール」を実施し、スポーツ推進委員の資質向上を図った。また、主催イベントである「ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク」および「ライフ親子グラウンド・ゴルフ大会」の開催をはじめ、ニュースポ―ツ用具の貸出しや行政機関等からの依頼を受けて各種スポーツイベントの運営スタッフとして従事協力を行い、ニュースポーツをはじめとした生涯スポーツ普及活動を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	前年度に引き続き、主催イベントの開催やニュースポーツの普及活動を行うとともに、各校区でのスポーツ振興活動を活発に行うことで各地域住民がスポ―ツに親しみやすい地域づくりを目指す。加えてスポーツ推進委員の活動を知ってもらうきっかけをつくり、担い手を増やせるよう努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　497

事務事業名称		野外活動センター運営事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　観光にぎわい部		課:　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　1970(S45)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市野外活動センター条例、枚方市野外活動センター条例施行規則、決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	自然の中での野外活動を通じて、市民の余暇の活用及び自然に関する知識の向上並びに青少年の健全育成を図ることを目的として、施設の利用者が安心安全に施設を利用できる環境を整えるとともに、学校キャンプの利用を促進し、市内の子どもたちが施設を利用することで、施設の活性化が図られ、より多くの青少年の健全育成が図られることを目指します。						
	対象者(受益者)	野外活動センターの利用者 学校キャンプを利用する市内小中学校の児童・生徒						
	現状・課題	自然の中での体験学習や野外活動の機会が不足している。						
	事業の概要	利用者が安心安全に施設を利用できる環境を整えるため、必要な施設保全や保守点検を適切に行う。 学校キャンプ(日帰り・宿泊)の利用促進を図るため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプを支援する。						
	年間の主な事務	・野外活動センターの管理運営委託 ・学校キャンプの利用調整 ・学校キャンプの往復交通手段となるバス代や体験プログラムの補助						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.40人	1.95人	—	—
再任用	2.00人	1.80人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	21,417	25,548	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	21,417	25,548	—	—		
歳出 物件費計	76,516	61,905	—	—	69,085	89.6%
歳出計	97,933	87,453	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	4,993	4,295	—	—	5,029	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	2,927	2,163	—	—	2,599	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	7,920	6,458	—	—	7,628	
一般財源(物件費充当分のみ)	68,596	55,447	—	—	61,457	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 施設保全や保守点検の実施回数	回	17 回	17 回	— 回	— 回
② 小・中学校を対象としたバス配車件数	件	19 件	20 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 支援を行った小中学校の児童・生徒が学校キャンプに参加する。

指標: 支援を行った小中学校数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	20	21	22	23	校
実績	23	21	—	—	校
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 学校キャンプに参加した子どもたちが別の機会に利用するなど、市内小中学生の施設利用が増加する。

指標: 市内小中学生の利用者数(日帰り・宿泊)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	5,910	6,110	6,310	6,510	人
実績	3,397	3,422	—	—	人
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

施設の利用者が安心安全に施設を利用できるよう、施設環境を整える。
学校キャンプの支援を実施し、令和9年度までにコロナ前(平成30年度実績)の利用者数まで増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数は0件だった。 ・冬季の休所日の利用ニーズを調査する目的で試行開所した。 ・森林環境譲与税を活用した森林整備業務を行い、安全な施設運営を行った。 ・青少年の自立心と生きる力を育む授業として実施されている学校キャンプを支援した。 ・利用状況や施設状況などを踏まえ、リニューアルに向けたサウンディング型市場調査を実施した。 ・青少年の自立心と生きる力を育む授業として実施されている学校キャンプを支援するとともに、当施設の利用促進を図ることを目的に、当センターまでの往復交通手段となるバス利用を支援しているが、バス運転手の不足等により、学校の希望日にバスが手配できないため実施を見送る等の課題が生じたことから、スケジュールの調整が必要となると考えている。
R7年度	学校キャンプ支援事業では、例年3～5校程度あった市内中学校の利用が1校に留まったことから、支援する小中学校数については昨年度に比べて減少となったが、利用者数としては増加した。 令和6年12月から実施した「サウンディング型市場調査」の結果を踏まえ、リニューアルに向けた課題整理を行い、「野外活動センターのリニューアルに向けた対応方針(中間報告)」を策定し、リニューアルに向けた取組を進めた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き「学校キャンプ支援事業」を実施し、学校ニーズに合わせたプログラムを提供するとともに、「野外活動センターのリニューアルに向けた対応方針(中間報告)」で定めた優先課題の検討を進め、リニューアルに向けた対応方針をまとめていく。	R8年度方向性	見直し

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	見直し	見直し	見直し	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　499

事務事業名称		指定管理施設(スポーツ)維持管理事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　観光にぎわい部		課:　スポーツ振興課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2006(H18)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立総合スポーツセンター条例、枚方市立総合スポーツセンター条例施行規則、枚方市立市民体育館条例、枚方市立市民体育館条例施行規則、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例施行規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる環境を整え、市民のスポーツの利用を促進します。						
	対象者(受益者)	総合スポーツセンターの利用者／渚市民体育館の利用者／伊加賀スポーツセンターの利用者						
	現状・課題	市民が誰でも安全にスポーツができる環境整備が求められている。						
	事業の概要	総合スポーツセンター等の維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、 指定管理者(3施設一括管理)による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。						
	年間の主な事務	・指定管理者との協定締結 ・指定管理者との協議・調整 ・指定管理料の支払い ・モニタリングの実施						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.77人	1.67人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.03人	0.03人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	13,608	13,709	—	—		
		会計年度任用職員	29	70	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		13,637	13,779	—	—		
	物件費計		353,819	290,447	—	—	280,109	103.7%
歳出計			367,456	304,226	—	—		
歳入	国庫支出金		0	9,686	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		109,400	18,600	—	—	18,600	
	その他		3,080	3,825	—	—	3,081	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			112,480	32,111	—	—	21,681	
一般財源(物件費充当分のみ)			241,339	258,336	—	—	258,428	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 総合スポーツセンターの開所日数	日	349 日	350 日	― 日	― 日
② 渚市民体育館の開所日数	日	347 日	347 日	― 日	― 日
③ 伊加賀スポーツセンターの開所日数	日	347 日	347 日	― 日	― 日

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明	効果的・効率的な管理運営を行い、施設使用者を増やす
指標	総合スポーツセンター使用者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	264,200	265,800	267,400	269,000	人
実績	265,580	271,245	―	―	人
算出方法	―				

ロジックモデル

アウトプット②

説明	効果的・効率的な管理運営を行い、施設使用者を増やす
指標	渚市民体育館使用者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	117,000	119,700	122,400	125,100	人
実績	119,594	104,773	―	―	人
算出方法	―				

ロジックモデル

アウトプット③

説明	効果的・効率的な管理運営を行い、施設使用者を増やす
指標	伊加賀スポーツセンター使用者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	207,000	219,000	231,000	243,000	人
実績	166,403	179,196	―	―	人
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	―
指標	―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	―	―	―	―
実績	―		―	―	―
算出方法	―				

アウトカム②

説明	―
指標	―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	―	―	―	―
実績	―		―	―	―
算出方法	―				

アウトカム③

説明	―
指標	―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	―	―	―	―
実績	―		―	―	―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

指定管理者による適切な維持管理を行い、効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づく施設の更新等を行い、利用者が安心安全快適に施設を利用できる環境を整えることで利用者数の増加を図り、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	総合スポーツセンター及び渚市民体育館については、適切な維持管理を行い目標値を達成した。伊加賀スポーツセンターについては、大体育室及びテニスコートの電灯設備改修工事（LED化）に伴い令和6年9月から令和7年2月までの間休室としたため目標値を下回った。
R7 年度	渚市民体育館については、スポーツ振興くじ助成金を活用したドームアリーナの床改修工事、学校施設環境改善交付金を活用したドームアリーナの電灯設備改修工事を実施した。これに伴い、令和7年10月から3月までの間、休室としたため目標値を下回った。また、経年劣化による不具合が生じていた加圧給水ポンプの更新を行った。 陸上競技場については、スポーツ振興くじ助成金を活用し日本陸上競技連盟3種公認に必要な超音波風速計2台を更新した。 伊加賀スポーツセンターについては、使用者数が目標数値には達しなかったが、実績値は昨年度に比べて増加した。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	指定管理施設3施設については、引き続き施設の適正な維持管理を行い、利用者が安心安全快適に施設を利用できる環境を整えることで利用者数の増加を図る。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持 ▶	**現状維持** ▶	**現状維持** ▶	— ▶	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　502

事務事業名称		民間スポーツ施設開放事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1988(S63)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	民間施設等活用推進実施要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	企業又はその他の法人等(以下「企業等」という。)の協力のもとに、提供可能なスポーツ施設を広く開放することにより、企業等と地域社会との新たな連携を形成するとともに、スポーツ活動の場の充実を図り、市民のスポーツの利用を促進する。						
	対象者(受益者)	開放する民間スポーツ施設の利用者						
	現状・課題	枚方市内のスポーツ振興課所管のスポーツ施設は高い利用率が続いているため、土日祝日を中心に施設利用ができない利用者も多数発生している。						
	事業の概要	本事業の目的を達成するために、下記の事業を行う。 ①使用者登録 ②企業等との使用調整及び使用申込 ③本事業に必要な民間スポーツ施設に係る物品購入、修繕 ④本事業へ協力する企業・大学等の新規開拓 ⑤情報発信						
	年間の主な事務	・本事業に係る委託手続き ・各企業との協定の締結 ・各企業への負担金の支払い						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.19人	0.22人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	1,461	1,806	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	1,461	1,806	—	—		
歳出	物件費計	4,671	5,261	—	—	5,261	100.0%
歳出計		6,132	7,067	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)		4,671	5,261	—	—	5,261	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 各施設の登録者数	人	288 人	260 人	― 人	― 人
② 本事業の協力企業・学校等	社・校	3 社・校	3 社・校	― 社・校	― 社・校

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	テニスコートの合計開放件数
指標	各施設の開放件数の合計値（テニスコートのみ）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	4,183	4,183	4,183	4,183	件
実績	4,183	3,977	―	―	件
算出方法	令和6年度の開放件数合計値（テニスコートのみ） ※協力企業の減少を踏まえ、令和6年度の合計値を維持				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	テニスコートの合計申込件数
指標	各施設の申込件数の合計値（テニスコートのみ）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	1,725	1,750	1,800	1,850	件
実績	1,726	1,575	―	―	件
算出方法	各施設の申込件数の合計値（テニスコートのみ） 目標値は令和5．6年度の実績値から平均伸び率で計算				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

市民のスポーツの利用を促進するため、各施設の開放件数を維持し、令和9年度末の週1日以上スポーツに取り組む成人の割合を増やす。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	昨年度本事業に協力していただいた施設は確保できたが、対前年度比で施設の合計開放件数は減少した。また、新規開拓に向けて企業や大学等と協議を行っているが、協力までには至らなかった。
R7年度	大学に対し施設開放の打診を行ったが、セキュリティの関係などから実現には至らなかったが、昨年度に引き続き、本事業に協力していただいた施設は確保できた。しかしながら、施設開放日が祝日や企業のイベント利用と重なり、件数としては対前年度比で減少した。 一部のテニスコートにおいて、令和8年3月分よりWEB予約システムの運用を開始することで、利用者の利便性向上を図った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	より多くの市民に活用いただけるような手法等を検討するとともに、連携していただける企業や大学があれば、アプローチを行っていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　905

事務事業名称		スポーツ振興課運営事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	スポーツ振興課の所管事務に関する手法改善を随時行い、業務を円滑に執行する。						
	対象者（受益者）	スポーツ振興課職員						
	現状・課題	所管事務を効率的かつ効果的に執行する。						
	事業の概要	課の運営事務						
	年間の主な事務	・予算管理 ・物品購入、支払い事務 ・委託契約処理 ・車両管理 ・市民からの問い合わせ対応						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	1.09人	1.09人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.10人	0.10人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,380	8,948	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	97	235	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	8,477	9,183	—	—		
歳出	物件費計	534	4,883	—	—	5,706	85.6%
歳出計		9,011	14,066	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	4,348	—	—	4,795	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	4,348	—	—	4,795	
一般財源（物件費充当分のみ）		534	535	—	—	911	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	【スポーツ振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、車両関係 【スポーツ振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約関係事務、文書関係事務、職員の服務・給与・休暇に関する事務
R7年度	【スポーツ振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、車両関係、包括・定期監査関係 【スポーツ振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約関係事務、文書関係事務、職員の服務・給与・休暇に関する事務
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	課所管事務の適正な執行に向けて、各課庶務関係事務を正確かつ適正に実行する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　1001

事務事業名称		市民スポーツ応援補助事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　観光にぎわい部		課：　スポーツ振興課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.ひとり一人の成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	○		
	事業期間	事業開始：　2025（R7）年度　～　事業終了予定：　未定（継続実施）						
	根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、枚方市民スポーツ応援補助金交付要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	市民スポーツ応援補助金　補助金性質：　その他補助						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	アスリート（アマチュア）の育成・支援のために、国際的規模及び全国的規模の競技スポーツ大会へ出場する市民等に対して、大会出場を激励するとともに、大会出場に伴う遠征費用の負担軽減を図ることで出場を支援し、本市のスポーツ振興及び競技力の向上を図ります。						
	対象者（受益者）	①本市に在住・在職・在学するアマチュアの方 ②主として①に掲げる方で構成され、スポーツ活動を主たる目的として本市に活動基盤を有する団体に所属するアマチュアの方						
	現状・課題	大会出場に伴う遠征費用の負担軽減が求められている。						
	事業の概要	枚方市スポーツ振興基金を活用して、スポーツ競技における全国大会・国際大会へ出場する競技者の大会出場に係る旅費等の費用の一部を補助する補助金を交付する。						
	年間の主な事務	・補助金受付事務 ・補助金の支払い ・補助金額確定手続き						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	—	0.35人	—	—
再任用	—	0.00人	—	—
任期付職員	—	0.00人	—	—
会計年度任用職員	—	0.00人	—	—
特別職非常勤	—	0.00人	—	—
附属機関委員	—	0.00人	—	—

決算額（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	0	2,873	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	0	2,873	—	—		
歳出 物件費計	0	8	—	—	254	3.1%
歳出計	0	2,881	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	254	
歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	—	—	254	
一般財源（物件費充当分のみ）	0	8	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 枚方市民スポーツ応援補助金交付金額	円	― 円	8,000 円	― 円	― 円

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	国際的規模及び全国的規模の競技スポーツ大会へ出場する市民等に対して補助金を交付する
指標	補助金交付件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	5	35	35	件
実績	―	1	―	―	件
算出方法	-				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	大会出場に伴う遠征費用の負担軽減を図ることで出場を支援し、本市のスポーツ振興及び競技力の向上を図る。
指標	補助金交付人数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	27	212	212	人
実績	―	1	―	―	人
算出方法	-				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

補助金を交付することで国際大会や全国大会に出場する競技者の負担を軽減し、市内におけるスポーツ活動が活発になり、令和9年度末の交付人数(大会出場者)212人を目指す。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	―
R7年度	「枚方市民スポーツ応援補助金交付要綱」及び「枚方市民スポーツ応援補助金交付要領」を整備し、各種関係団体への情報提供やホームページ・SNSで発信することで制度の周知を図った。また、申請者に対し申請内容を審査の上補助金を交付し、市民のスポーツ活動を支援した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き、要綱等に基づき適正な補助金の交付を実施し、市民のスポーツ活動を支援する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	―	0	**現状維持**	―	―